

動く資料は既製の指示文の下に素材を貼るだけで、コードを書かずに作れる

15,699字

貼るだけで、自分では書かない指示文
計算：6,089+9,610（当社実測）

1っ

1ページに付ける操作
見出しの構造（6つ）から決まる

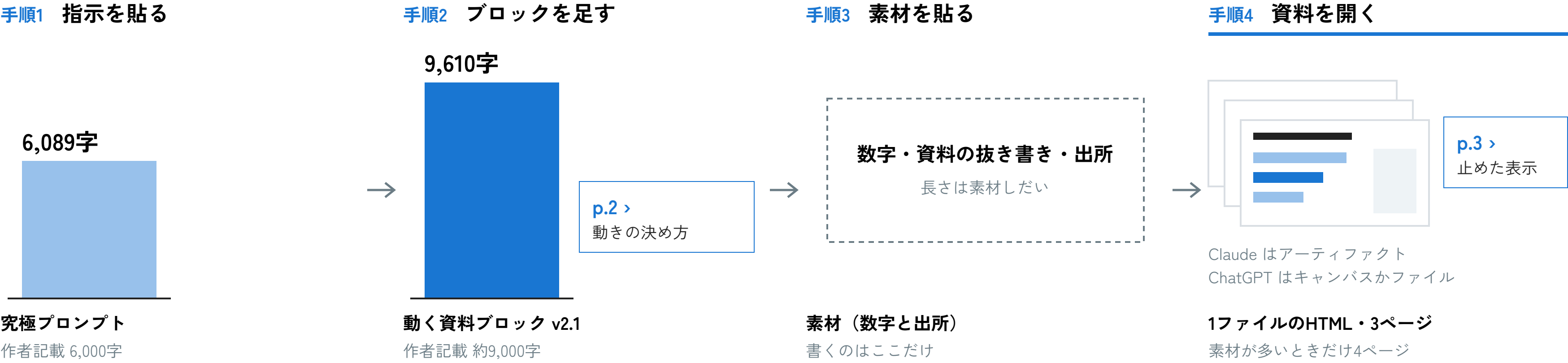
3秒前後

ページに入ってから組み上がるまで
#static では開いた時点で最終状態

動く資料ができるまでの手順と、貼る指示文の長さ（2026年10月、字）

同じチャットに、上から順に貼る

棒を押すと内訳>



注：字数は当社が2026-10-10に計測。動く資料ブロックの実測は見本ページ1枚分のコードを含む

作り方の考案：うちた氏。出所：うちた氏のX記事（2026年10月）、note（究極プロンプト×見本61枚、動く資料ブロック v2.1）

付ける操作を決めるのはセンスではなく、見出しが言いたいことの構造だ

見出しの構造と付ける操作の対応（動く資料ブロック v2.1）

見出しが言いたいこと

付ける操作（押すと動きを再生）

ピラミッド 結論と根拠		押すと根拠が出る
分類 切り口	p.2で使用	切り替えると並び替わる
比較 差分	p.3で使用	形が変わり、差が残る
因果 原因と結果		スライダーで再計算する
問題解決 不足と打ち手		オン・オフで不足が埋まる
順序 流れと時間	p.1で使用	順に組み上がる

1つ

1ページに付ける操作の数

見出しの構造がどれに当たるかを決めれば、操作は左の対応から1つに決まる。動きを好みで選ぶ場面は残らない。

見出しの構造	6つ
1ページに付ける操作	1つ
3ページの資料の操作（計算：3×1）	3つ
見出しの長さ	1行36字以内

注：右の小さな図は操作の見本で、数値は表していない

止めても組み上がった資料として読めるため、次の1本で試すに値する

動く表示	止めた表示 (#static)
------	-----------------



止めた表示を、そのまま
PDFにして配れる

ファイル 1ファイル・40KB前後

< 3 / 3 >